

第三次鹿児島市地域情報化計画

概要版

平成25年3月
鹿児島市

第1章 計画の概要

1-1. 策定の趣旨

「第二次鹿児島市地域情報化計画」（平成20年3月策定）の計画期間（平成20～24年度）が終了することから、国の戦略や本市の地域情報化の現状を踏まえた上で、社会経済情勢の変化やICT※1の進展とそれに伴う市民ニーズの高度化・多様化に対応し、市民生活の利便性向上と地域の活性化を図るために「第三次鹿児島市地域情報化計画」を策定します。

1-2. 計画の位置づけ

本計画は、上位計画である「第五次鹿児島市総合計画」に掲げた目標の達成に向けて、これを情報化の側面から支援します。

1-3. 計画期間

平成25～29年度までの5年間

第2章 情報化に関する現状

2-1. 国の動向

国は、IT戦略本部において平成22年5月に「新たな情報通信技術戦略」を策定し、「国民本位の電子行政の実現」、「地域の絆の再生」、「新市場の創出と国際展開」の3つの柱を重点戦略とした施策に取り組んでいます。「国民本位の電子行政の実現」の中では、国と地方自治体が連携して取り組む施策として、コンビニエンスストアで証明書が入手できるようにする施策などを推進することとしています。

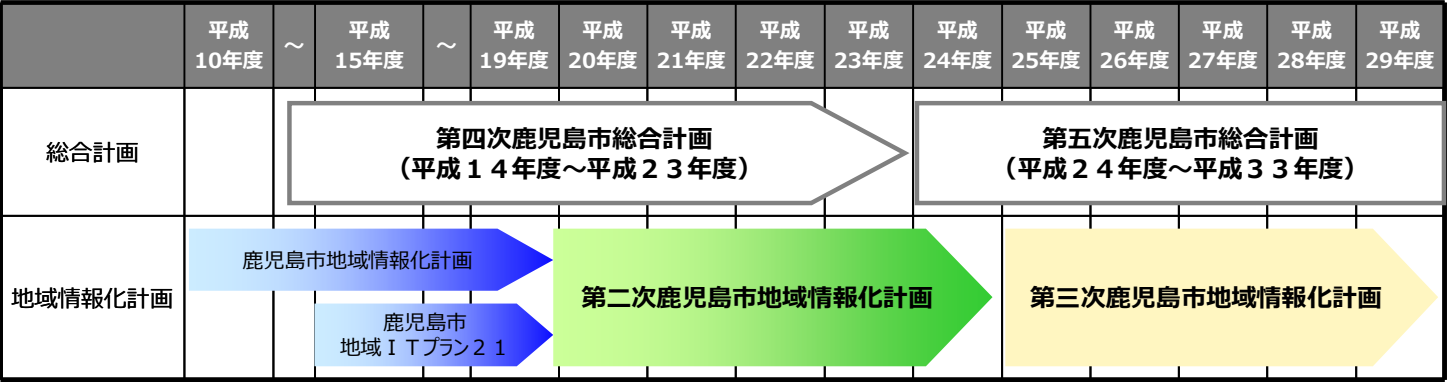
また、東日本大震災を受け、IT戦略本部では「IT防災ライフライン推進協議会」を設置し、IT防災ライフラインの構築を推進しています。

2-2. 本市の取組と現状

(1) 本市のこれまでの取組

本市はこれまで「第二次鹿児島市地域情報化計画」において、4つの課題（「高齢者のICT利用促進」、「情報の双方向性の活用」、「発信する情報の質の向上」、「地域間格差の解消」）の解消に向けて取り組み、インターネットの利用率が増加するなど、一定の成果を上げています。

《本市の総合計画と地域情報化計画の期間》



※1 ICT（アイシーティー）： Information & Communications Technology（インフォメーション・アンド・コミュニケーションズ・テクノロジー）の略。情報通信技術のこと。

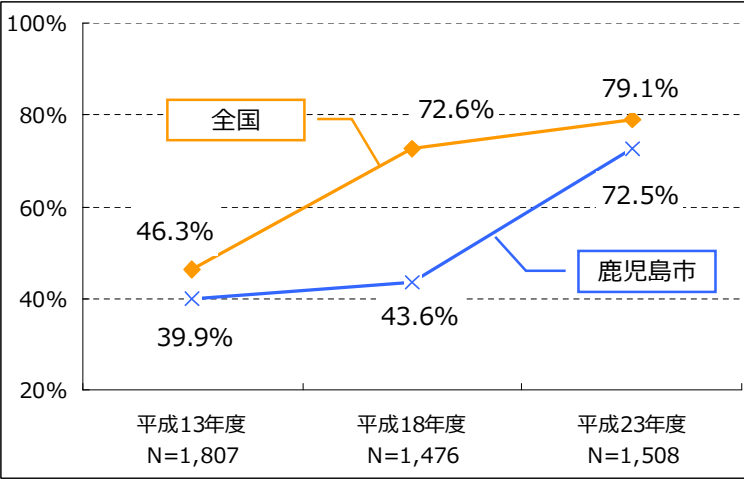
(2) 本市の情報化の現状

本市の情報化のあるべき姿と進むべき方向性についての指針となる本計画の策定に活用するため、情報通信機器やインターネットの利用状況、ICT施策に関する市民の意識調査（「鹿児島市の情報化に関する市民意識調査」）を平成23年度に実施しました。

《調査概要》

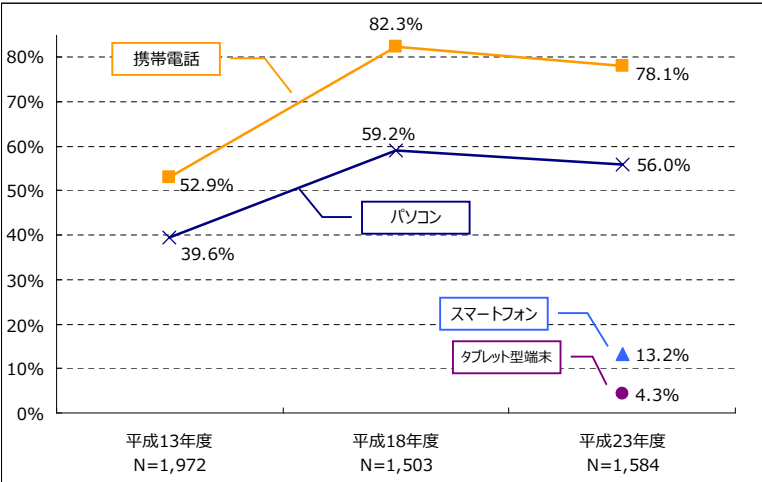
調査対象者 : 16歳～79歳の鹿児島市民、総数3,200名
有効回答数 : 1,584件（回答率49.5%）

《インターネット利用率の推移（個人）》



前回18年度調査と比較して、本市のインターネット利用率（個人）は43.6%から72.5%と28.9ポイント増加し、インターネットが普及している状況が現れています。

《情報通信機器の保有率の推移（世帯）》



前回18年度調査と比較して、本市の情報通信機器の保有率は携帯電話（スマートフォン※2除く）が82.3%から78.1%と4.2ポイント減少、パソコン（タブレット型端末※3除く）が59.2%から56%と3.2ポイント減少しています。国の調査でも全国的に同様の傾向を示しており、これは従来の携帯電話やパソコンに替わる、スマートフォンやタブレット型端末など、新たな情報通信端末が出現し、普及しつつあることが要因と考えられます。

《その他、主な質問内容と回答状況》

質問内容	回答数が多い項目
インターネット利用での不安等	ウィルスの感染が心配である（40.3%）
	個人情報の保護に不安がある（40.2%）
	通信料金が低い（25.4%）
情報化に対する不安や不満	個人情報が漏えいしプライバシーが侵される（42.9%）
	パソコンを利用できる人と、できない人との間に格差が生じる（42.7%）
	ネットワーク犯罪が増加する（38.4%）

※2 スマートフォン：従来の携帯電話の有する通信機能等に加え、高度な情報処理機能が備わった携帯電話のこと。従来の携帯電話とは異なり、利用者が使いたいアプリケーションを自由にインストールして利用することが一般的。また、スマートフォンはインターネットの利用を前提としており、無線LANに接続して利用することも可能。

※3 タブレット型端末：タッチパネル式などの表示／入力部を持った携帯端末のこと。

2-3. 地域情報化推進における課題の変化

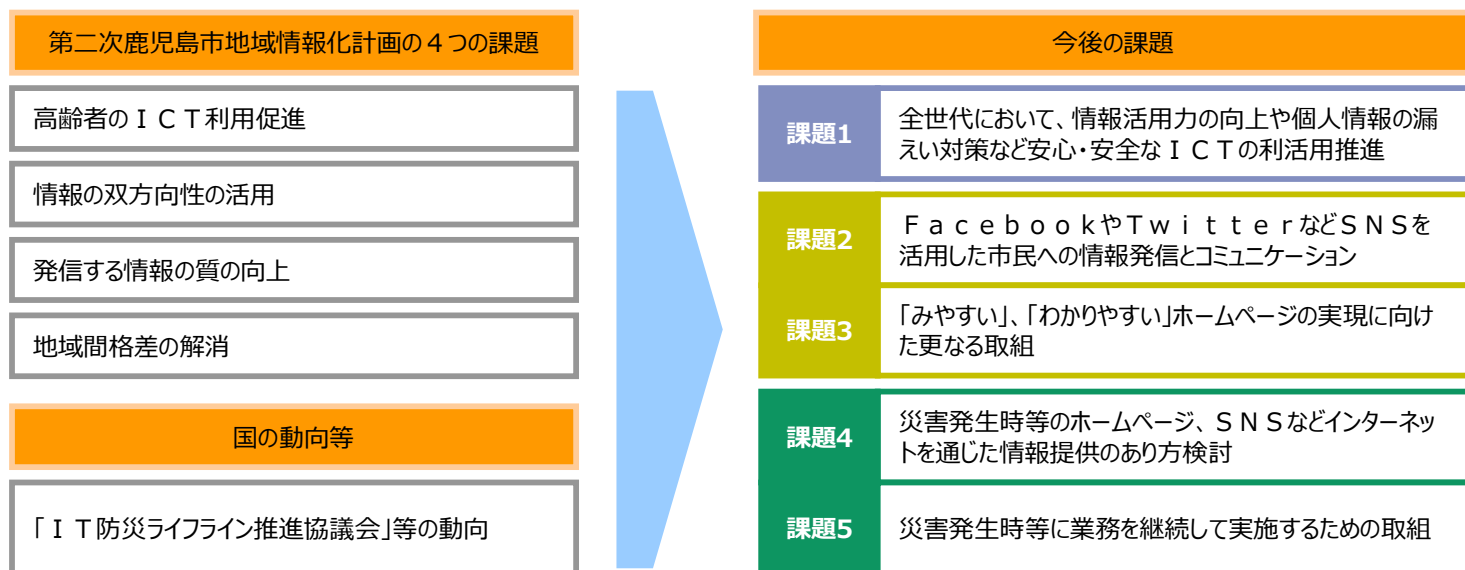
(1) 市民意識調査等から導き出される今後の課題

- 課題1** インターネットの利用者が増加した反面、市民は「情報活用力の格差」、「個人情報の保護」などに不安を感じています。今後、スマートフォンなど新たな情報通信機器の活用が進む中、市民一人ひとりが安心かつ安全にICTを利活用するための対策が必要です。
- 課題2** 新たな情報提供と市民とのコミュニケーション手段としてFacebook※4やTwitter※5などのSNS※6が注目されており、今後更なる利活用に向けた検討が必要です。
- 課題3** ホームページの「みやすさ」、「わかりやすさ」への要望は依然多く、更なる取組が必要です。

(2) 国の動向を踏まえ、本市でも今後検討すべき課題

- 課題4** 東日本大震災を受け、国のIT戦略本部では「IT防災ライフライン推進協議会」を設置し、災害時の情報提供・発信の手段として、SNSなどインターネットサービスを含めたさまざまなメディアの活用を推進しています。本市においても、災害発生時等の情報提供のあり方の検討が必要です。
- 課題5** 総務省においても業務継続とサービス提供の観点から災害発生時等のICT利活用に関する検討を行っています。本市においても、業務を継続して実施するための取組が必要です。

《課題の変化》



※4 Facebook（フェイスブック）： 利用者がメッセージのやり取りや近況の確認などの交流ができる、インターネット上のサービスで、SNSの一種。

※5 Twitter（ツイッター）： 利用者が「ツイート」と呼ばれるつぶやきを投稿し、双方向のやり取りをすることができる、インターネット上のサービスで、SNSの一種。

※6 SNS（エスエヌエス）： Social Networking Service（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の略。インターネット上で友人を紹介しあって、個人間の交流を支援するサービス。会員は自身のプロフィール、日記等を公開できるほか、SNS上での知人・友人等の日記、投稿等を閲覧したり、コメントしたり、メッセージを送ったりすることができる。

3-1. 施策と重点取組

(1) 施策

本計画では、「第五次鹿児島市総合計画」に掲げる基本目標と基本施策に基づき、関連する分野ごとに情報化の目指すべき方向を定め、14の施策を掲げます。

(2) 重点取組

本計画では、新たな5つの課題に対応するため、3つの重点取組を設定し、本市の地域情報化を推進します。

① ICTの安心・安全な利活用の推進

市民等がICTに関する必要な知識と利活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

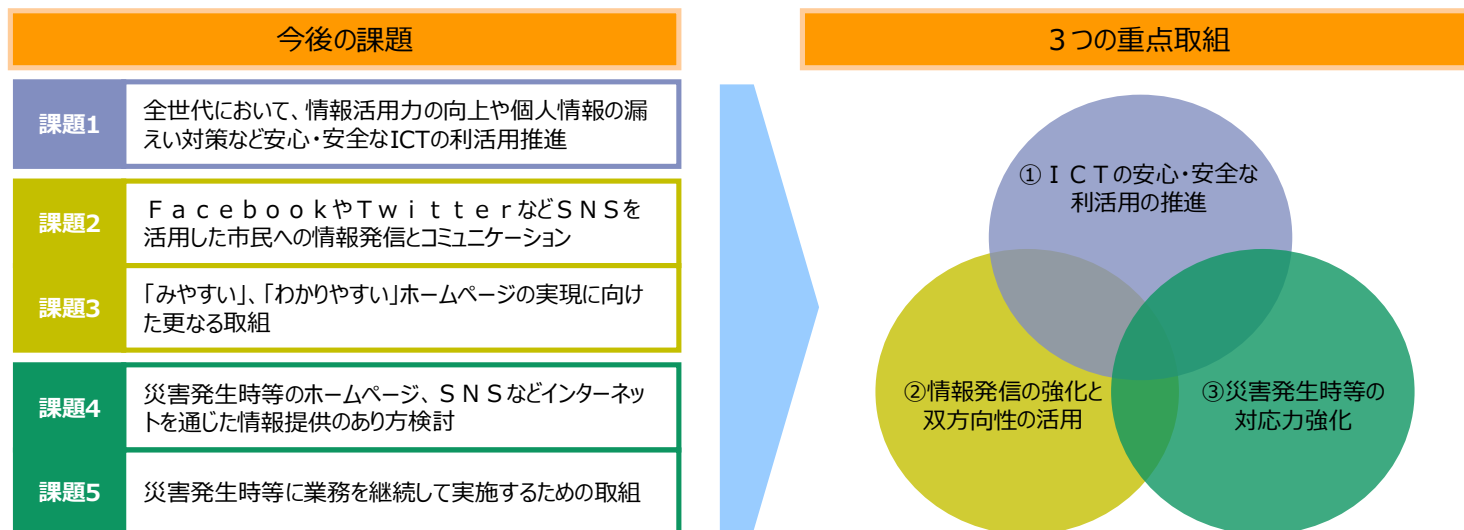
② 情報発信の強化と双方向性の活用

ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取組に加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

③ 災害発生時等の対応力強化

東日本大震災などを踏まえて、災害発生時の迅速な対応が必要とされています。本市においても、SNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃※7や計画停電時に継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

《今後の課題と3つの重点取組》



※7 サイバー攻撃： インターネットなどを利用して、標的のコンピュータやネットワークに不正に侵入し、データの詐取や破壊、改ざんなどを行ったり、標的のシステムを機能不全に陥らせること。

3-2. 計画の体系図

第五次鹿児島市総合計画

基本目標

①市民と行政が拓く
協働と連携のまち
【信頼・協働政策】

②水と緑が輝く
人と地球にやさしいまち
【うるおい環境政策】

③人が行き交う
魅力とにぎわい
あふれるまち
【にぎわい交流政策】

④健やかに暮らせる
安全で安心なまち
【すこやか安心政策】

⑤学ぶよろこびが広がる
誇りあるまち
【まなび文化政策】

⑥市民生活を支える
機能性の高い快適なまち
【まち基盤政策】

基本施策

1 地域社会を支える協働・連携の推進

2 自主的・自立的な行財政運営の推進

1 低炭素社会の構築

2 循環型社会の構築

3 うるおい空間の創出

4 生活環境の向上

1 地域特性を生かした観光・交流の推進

2 中心市街地の活性化

3 地域産業の振興

4 農林水産業の振興

1 子育て環境の充実

2 高齢化対策の推進

3 きめ細かな福祉の充実

4 健康・医療の充実

5 生活の安全性の向上

6 総合的な危機管理・防災力の充実

1 学校教育の充実

2 生涯学習の充実

3 市民文化の創造

4 スポーツ・レクリエーションの振興

5 人権尊重社会の形成

1 機能性の高い都市空間の形成

2 快適生活の基盤づくり

3 市民活動を支える交通環境の充実

第三次鹿児島市地域情報化計画

I 信頼・協働

- 安 1 電子行政の推進
- 安 2 地域のICT利活用促進

①市民等がICTに関する必要な知識と活用方法を身に付け、ICTを安心かつ安全に利活用するための施策を推進します。

(具体策)

- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・かごしまITフェスタの開催
- ・高齢者いきいき元氣塾におけるICT基礎講座の実施
- ・情報教育（情報モラル等）の充実
- ・インターネットの安全利用に関する啓発
- ・消費生活学習資料の作成・配布
- ・ICT基礎講座の実施

II うるおい環境

- 情 3 環境に配慮した情報化の推進

III にぎわい交流

- 情 4 観光・交流における情報化の推進
- 5 地域産業における情報化の推進

IV すこやか安心

- 情 6 ICTを活用した子育て支援の充実
- 安 7 ICTを活用した高齢化対策の推進
- 8 ICTを活用した福祉・医療の充実
- 情 9 ICTを活用した
危機管理・防災力の充実

V まなび文化

- 安 10 学校における情報教育の充実
- 安 11 生涯学習におけるICT活用
- 12 文化情報の発信

VI まち基盤

- 13 都市基盤施設におけるICT活用
- 情 14 ICTを活用した交通環境の充実

①ICTの安心・安全な利活用の推進

重点取組

②情報発信の強化と双方向性の活用

③災害発生時等の対応力強化

②ホームページの「みやすさ」や「わかりやすさ」の向上への取組に加えて、SNSなどを効果的に活用し、より充実した情報提供を図ります。

(具体策)

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・SNS等を活用した市政情報発信の充実
- ・パブリックコメント手続の意見提出における電子申請（簡易申請）の活用
- ・地域コミュニティ連携組織ポータルサイト※10の開設・運用
- ・環境情報システムの運用
- ・メールマガジン※12による観光情報発信の充実
- ・観光ホームページの運営
- ・海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信
- ・外国人観光客の受入体制の整備
- ・子育て支援情報サイトの構築
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システムの導入

③災害時におけるSNSなどのICTを活用した情報提供のあり方を検討します。また、自然災害のみならず、サイバー攻撃や計画停電時にも継続的に行政サービスを提供するための仕組みや体制などを検討します。

(具体策)

- ・鹿児島市ホームページの充実
- ・情報セキュリティ対策の推進
- ・デジタル防災行政無線の整備
- ・安心ネットワーク119の拡充
- ・消防緊急通信指令システムの再構築（デジタル化対応）
- ・ICT-BCP※14（業務継続計画）の策定
- ・SNS等を活用した防災情報の発信
- ・インターネットを活用した119番通報の受理
- ・新電車運行情報システムの導入

3-3. 具体策

重点 取 組	安	I C Tの安心・安全な利活用の推進
	情	情報発信の強化と双方向性の活用
	災	災害発生時等の対応力強化

(1) 信頼・協働

施策1：電子行政の推進

I C Tは市民生活の利便性向上などにますます重要な役割を果たしてきています。
S N Sなど新たな広報媒体を活用して市政情報発信の充実に努めるとともに、コンビニでの証明書の交付などを実施し、市民サービスの向上や行政事務の効率化などを図ります。

No.	具体策		
1-1	鹿児島市ホームページの充実（リニューアル等）	情	災
1-2	S N S等を活用した市政情報発信の充実	情	
1-3	パブリックコメント手続の意見提出における電子申請（簡易申請）の活用	情	
1-4	鹿児島市総合案内コールセンター（サンサンコールかごしま）の運営		
1-5	サンサンコールかごしまF A Q※ ⁸ システムの充実		
1-6	住民情報系システムの最適化（住民記録システム等の再構築）		
1-7	コンビニ交付の実施（コンビニエンスストアにおける住民票の写しなどの交付）		
1-8	電子申請システムの拡充		
1-9	人事評価システムの導入		
1-10	水道局電算システムの再構築		
1-11	統合型G I S※ ⁹ の運用		
1-12	電子納品の推進（公共工事における調査、設計等の最終成果の電子媒体での納品）		
1-13	設計書・図面等の電子化による管理		
1-14	情報セキュリティ対策の推進	安	災

施策2：地域のI C T利活用促進

市民、事業者、行政等の協働・連携による活力ある豊かな地域づくりなどが求められています。地域コミュニティ連携組織ポータルサイト※¹⁰を通して、市民の地域コミュニティへの参加を促進するほか、I Tフェスタのイベント開催などにより、市民等の情報活用力の向上を図り、地域のI C Tの利活用を促進します。

No.	具体策	
2-1	地域コミュニティ連携組織ポータルサイトの開設・運用	情
2-2	通信環境の改善促進	
2-3	I C T使用のメリット広報	
2-4	かごしまI Tフェスタの開催	安
2-5	公共施設への公衆無線L A N※ ¹¹ スポット設置の検討	

※8 F A Q（エフイーキュー）： Frequently Asked Question（フリクエントリー・アスクド・クエスチョン）の略。頻繁に尋ねられる質問のこと。多くの人が同じような質問をすると予想されるときに、あらかじめ回答を用意したQ & A集を指します。

※9 G I S（ジーアイエス）： G I SはGeographical Information System（ジオグラフィカル・インフォメーション・システム）の略で地理情報システムのこと。位置に関する情報を持ったデータを総合的に管理し、加工し、視覚的に表示し、高度な分析や迅速な判断を可能にする技術のこと。

※10 ポータルサイト： 分野別に情報を整理しリンク先が表示されている、入り口となるホームページのこと。

※11 公衆無線LAN： 店舗や公共の空間などで提供される、無線L A Nによるインターネット接続サービスのこと。無線L A Nは、ケーブル線の代わりに無線通信を利用してデータの送受信を行うシステム。

(2) うるおい環境

施策3：環境に配慮した情報化の推進

低炭素社会や循環型社会の構築などが求められています。庁内サーバー統合等による消費電力の削減や環境情報システムによる情報発信の充実などを図ります。

No.	具体策	
3-1	庁内サーバー統合等による消費電力及びCO ₂ の削減	
3-2	環境情報システムの運用（環境未来館ホームページの充実や関連機器の更新）	情

(3) にぎわい交流

施策4：観光・交流における情報化の推進

九州新幹線の全線開業などにより、これまで以上に、観光交流都市としての魅力の向上や、受け入れ体制の充実、効果的な情報発信などに努める必要があります。新たな観光情報のホームページやメールマガジン※12などを通じて、自然、歴史、文化、食など本市の持つ魅力を発信するとともに、観光客が観光情報を入手するための環境整備などを実施し、国内外からより多くの人が訪れるまちづくりを推進します。

No.	具体策	
4-1	メールマガジンによる観光情報発信の充実	情
4-2	観光ホームページの運営	情
4-3	海外旅行エージェントに対する「さきどり情報」の発信	情
4-4	外国人観光客の受入体制の整備（観光施設への公衆無線LANスポットの整備）	情

施策5：地域産業における情報化の推進

ICT社会が進展していることから、企業などにおいても人材育成などの対応が求められています。情報化に関するセミナーの開催などによる新規創業者等の育成支援や情報関連企業の立地などを通じて、地域産業の活性化を図ります。

No.	具体策	
5-1	新規創業者等の育成支援	
5-2	情報関連企業の立地	

(4) すこやか安心

施策6：ICTを活用した子育て支援の充実

核家族化の進行や地域住民同士の交流の希薄化が進む中、子育てに関する支援や情報が得にくい環境になっています。ICTを活用して、子育て支援施設や支援団体等の活動の情報を効果的に提供し、親同士、妊婦同士が情報交換し、安心して子どもを生み育てることのできる環境づくりを推進します。

No.	具体策	
6-1	子育て支援情報サイトの構築	情
6-2	親子つどいの広場へのICTコーナー設置	

※12 メールマガジン：電子メールを利用して発行される雑誌のこと。発行者が購読者に定期的に電子メールで情報を届けるシステムのこと。発行元に自分のメールアドレスを登録することによって、次回発行時から届くようになる。

重点 取 組	安	I C Tの安心・安全な利活用の推進
	情	情報発信の強化と双方向性の活用
	災	災害発生時等の対応力強化

施策7：I C Tを活用した高齢化対策の推進

高齢化が急速に進む中、高齢者が明るく健やかに暮らせる生きがいづくりと安心して快適に生活できる環境づくりが求められています。

高齢者は、他の年代に比べI C Tの利活用の割合が低いことから、I C T基礎講座等を通じて、インターネットなどI C Tの安心・安全な利活用を促進するほか、ひとり暮らし高齢者等が安心して暮らせるよう、安心通報システムの見直しを行います。

No.	具体策	
7-1	高齢者いきいき元気塾におけるI C T基礎講座の実施	安
7-2	ひとり暮らし高齢者宅等への安心通報システムの設置	
再掲	I C T使用のメリット広報	
再掲	かごしまI Tフェスタの開催	安

施策8：I C Tを活用した福祉・医療の充実

きめ細やかな福祉サービスの充実や安心安全な質の高い医療などが求められています。

電子カルテ※13システムの導入など病院機能の充実に努めるとともに、地域医療機関との連携などを図ります。

No.	具体策
8-1	市立病院電子カルテシステムの導入

施策9：I C Tを活用した危機管理・防災力の充実

東日本大震災などを踏まえて、危機管理・防災力の充実などが求められています。デジタル防災行政無線の整備や安心ネットワーク119のメールでの災害情報の提供などを通じて、災害時の情報発信強化を図るとともに、I C T-B C P※14を策定し、災害発生時等に継続して住民サービスを提供するための仕組みや体制などを構築します。

No.	具体策		
9-1	デジタル防災行政無線の整備		災
9-2	安心ネットワーク119の拡充（メールによる災害情報の発信）		災
9-3	消防緊急通信指令システムの再構築（デジタル化対応）		災
9-4	I C T-B C P（業務継続計画）の策定		災
9-5	S N S等を活用した防災情報の発信	情	災
9-6	インターネットを活用した119番通報の受理の検討	情	災

※13 電子カルテ： 診療情報（診療の過程で得られた患者の病状や医療経過等の情報）を電子的に保存した診療記録のこと。

※14 I C T-B C P： B C Pは、Business Continuity Plan（ビジネス・コンティニュイティ・プラン）の略で、（アイシーティー・ビーシーピー）業務継続計画のこと。情報通信に係る何らかの障害が発生した場合に重要な業務が中断しないこと又は業務が中断した場合でも目標とした復旧時間内に事業が再開できるようにするための対応策などを定めた包括的な行動計画のこと。

(5) まなび文化

施策 10：学校における情報教育の充実

教育用コンピュータの整備を進め、児童生徒の情報教育の推進に努めてきた一方で、情報セキュリティやインターネット上のトラブルを未然に防止するための対策などが求められています。児童生徒等の情報活用能力の更なる育成と情報モラルの育成などに努めます。

No.	具体策	
10-1	学習用・校務用機器等の整備	
10-2	I C T 支援員の派遣	
10-3	情報教育(情報モラル等)の充実	安
10-4	インターネットの安全利用に関する啓発	安
10-5	消費生活学習資料の作成・配布	安

施策 11：生涯学習における I C T 活用

生涯学習の活性化のために、学習関連施設や学習情報の充実が求められています。I C T を活用した施設利用者の利便性向上を図るとともに、情報セキュリティ講座など I C T 関連講座の実施などにより、生涯学習における I C T の安心安全な利活用を推進します。

No.	具体策	
11-1	I C T 基礎講座の実施	安
11-2	生涯学習情報システム（キュートピア・ネット）の利便性向上	
11-3	図書館電算システムの運用	
再掲	高齢者いきいき元気塾における I C T 基礎講座の実施	安
再掲	I C T 使用のメリット広報	
再掲	かごしま I T フェスタの開催	安

施策 12：文化情報の発信

かごしまデジタルミュージアムの充実などを通じて、歴史・文化資産のデジタル化を推進し、本市の貴重な文化芸術を身近に鑑賞できる機会を充実するとともに、インターネットなど I C T を活用した文化情報の発信などを図ります。

No.	具体策
12-1	かごしまデジタルミュージアムの充実

(6) まち基盤

施策13：都市基盤施設におけるI C T活用

生活道路や上下水道など市民生活に密着した都市基盤施設などについて、より効率的で効果的な整備や長寿命化などが求められています。

統合型G I Sを活用した配管図等の電子化やI C Tを活用した施設の管理（ストックマネジメント※15）などを推進し、中長期的な視点で効率的な整備を図ります。

No.	具体策
13-1	ストックマネジメントシステムの導入（上下水道施設の長寿命化等）
13-2	指定道路図等の整備（建築基準法に係る道路情報の公開）
再掲	統合型G I Sの運用

施策14：I C Tを活用した交通環境の充実

九州新幹線の全線開業などにより、県内外からこれまでより多くの人々が訪れ、利便性・効率性の高い公共交通体系などが求められています。新電車運行情報システムの導入によりI C Tを活用した情報提供を行い、利用者の利便性向上を図ります。

No.	具体策
14-1	新電車運行情報システムの導入

情 災

第4章 計画の推進

4-1. 推進体制

本計画においては、庁内体制に加え、学識経験者や公募市民等で構成された「鹿児島市地域情報化推進委員会」の意見や提言などを踏まえ、情報化施策を推進します。

4-2. 計画の進捗状況の管理

本計画に掲げる施策や具体策の実効性を上げるために、P D C Aサイクル（P l a n：計画、D o：実行、C h e c k：評価、A c t i o n：改善）に基づき、適切な進捗管理を実施します。

4-3. 情報化施策推進の視点

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 利用者の視点 | 5. 標準化の視点 |
| 2. 費用対効果の視点 | 6. ユニバーサルデザインの視点 |
| 3. 市民との協働・連携の視点 | 7. 情報セキュリティ対策の視点 |
| 4. 共同化の視点 | 8. 環境配慮の視点 |

※15 スtockマネジメント： 既存の施設（ストック）を有効に活用し、長寿命化等を図る体系的な手法のこと。